

静岡県漁業協同組合連合会

1004 静岡市追手町 9-18

14.8.2 ☎ 054-254-6011

編集・発行 = 指導部漁政課

1. 榛原地区磯焼け対策 地域を越えた漁業者の協力で新たな取組み

かねてより問題となっている、榛南海域の磯焼け対策に地域を越えて取り組んでいる榛南、伊豆地区磯焼け対策連絡協議会(吉村御前崎漁協長)の平成14年度総会が、過日下田市漁協会議室で開催されました。

総会はこれまで静岡市で開催されていましたが、本年は平成14年度より5ヵ年事業として榛南地区地先型増殖場造成事業が開始されるのに伴い、この事業に漁場提供等の協力をする賀茂地区漁業者に対し榛南地区漁業者として敬意を表すると同時に、両地区漁業者間交流を深めようと現地下田市での開催となり、委員、両地区漁業者、県水産振興室、県水試、温水利用研究センターなどの関係者が参集しました。

この榛南地区地先型増殖場造成事業は、磯焼けした榛南海域にカジメを移植するため、コンクリートブロックをカジメの繁茂している伊豆海域に沈め、カジメを自然着生させた後、榛南地区にブロックごと移植し、藻場を造成し海中林の復元を図ろうとするもので、本年度はカジメが胞子を出す時期10月を前に、1,500個(明年度を含め最終4,000個予定)のブロックを南伊豆下流地先海域に投入、1年7ヵ月に亘り仮置きし、カジメの自然着生を待つことにしています。

この事業の特色は、磯焼けにより磯根資源の減少に悩む榛南地区の漁場回復のため、同じ磯根資源に依存する賀茂地区(稲取、下田市、南伊豆町漁協)漁業者が、自らの漁場を提供して漁場回復を支援協力しようとするもので、地域を越えた海の上の協同活動として全国的にもめずらしい取組みで、今後の漁場づくりのモデルケースとして注目されており、榛南の海に再び豊かな海中林と磯根資源が甦る日が期待されます。

2. 駿河湾深層水給水施設建設で安全祈願祭挙行される

県では、深層水利用施設を整備するため、去る7月22日、石川県知事、原田衆議院議員、竹山参議院議員、原本会会長、戸本焼津市長ら関係者約70名の出席のもと建設工事安全祈願祭を執り行い、当日は神事に引続き深層水の脱塩水とその水で乾杯し、工事の無事竣工を祈願しました。本建設工事は平成14年、15年の2ヵ年で総工事費約12億円、敷地面積7千平方メートル、鉄骨造り平屋建ての飼育棟(1千8百平方メートル、藻類棟、技術開発棟、魚類棟を一体化して建設)、屋外池(大型藻類、親魚用が計6個)、機械棟(240平方メートル、受水槽、深層水温度調整施設、自家発電施設など)、管理棟(256平方メートル、実験室、管理モニター室、会議室)、排水処理施設、駐車場などを整備することになっています。

この施設は、県水産試験場の附帯施設となり将来的には藻類、魚介類の種苗生産に関する

研究及び冷水性魚介類養殖技術研究、深層水の特性である高栄養性や清浄性、低温安定性の多段階での有効利用を研究することになっています。

3. 清水市「折戸マリーナ」オープン

清水港の放置係留船艇の受け皿づくりと、海洋性レクリエーションの振興を目的に清水市漁協(宮城島組合長)、鈴与、清水港木材産業協同組合などが出資し設立した「折戸マリーナ」が、去る7月20日関係者120人の出席のもとに竣工式が行われオープンしました。

同マリーナは、貯木場の一部を用途変更し、6基の棧橋に小型艇108隻、中型艇108艇、大型艇82隻が係留できます。

このマリーナの特徴は、燃料の補給棧橋や船艇修理ヤードが併設されているほか、出入港は24時間365日可能で、周辺の巴川や折戸などの放置係留艇900隻余の受入のため料金を低く設定しており、中型艇の場合契約金などを含め初年度約60万円、次年度以降は約30万円とのことで、現在30隻余りの係留がきまり今後の予定では陸置きも計画されています。

4. マイワシ漁獲量、去年の2割以下

漁業情報サービスセンターの7月17日の発表によると、今年6月のマイワシ主要産地水揚げ量は、中旬以降犬吠埼から常磐沖でややまとまった水揚げがあったものの、全国で4千3百51トンと去年の2万4千6百トンの5分の1以下の水揚げしかなくイワシ不漁の深刻さが明らかになりました。6月までの累計は6千6百34トンと、去年の5万7千7百22トンの11%にとどまっており、累計単価もキロ185円と去年の69円の268%になっています。このままでは「幻の高級魚」になりかねない状況となっています。

5. 焼津市「魚ッとする」作品募集

焼津市水産課は、「魚(ギョ)ッとするコンテスト in 焼津」の作品を8月31日まで募集しています。テーマはマグロで、コンテストはマグロをメイン食材としたアイデアレシピを競う「料理」 マグロ料理を引き立てる「創作食器」 オリジナルレシピの表紙などに使うマグロをモチーフにしたイメージカットを描く「デザイン」の3部門になっています。

審査は専門家と市民により行われ、最終審査は9月22日焼津港で来場者により行う予定。

料理と創作食器部門の最優秀賞1点に30万円、優秀賞2点に5万円、デザイン部門最優秀賞1点5万円、優秀賞2点に1万円が贈られます。

応募・問合せは市役所水産課内「魚ッとするコンテスト」係 TEL 054-622-2152

6. 諸会議・日程(8月6日(火)~8月19日(月))

- 既報分省略 -

8月6日(火) 県漁連 = 相良町地区三漁協合併研究協議会 (相良町役場)

8月7日(水) 県桜えび漁業組合 = 役員会 (県水産会館)

8月8日(木) 県漁連 = 海の子フェスタ幹事会 (")

8月9日(金) 県しらす船曳網組合 = 役員会 (")

" 県漁連 = 一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会 (ブケ東海)